

第2回ごみゼロカフェ 開催報告

ごみゼロカフェ NEWS

マイクロプラスチックをテーマにした講義と工作講座

第2回では、プラスチック問題にフォーカスし、講義とアップサイクル工作の2部構成で開催しました。第1部は、ダイバーでもある講師による、実体験も含め今海の中で起こっているプラスチックの問題についての講義と、第2部では、海のマイクロプラスチックを利用したアップサイクル工作と、1部、2部を通して、“海”をキーワードにプラスチックの問題を考える場となりました。

第1部

海の中で今起こっていること ～知っておきたい海の環境の話～

本来美しいはずの海の中で、今起こっている環境問題について、ダイバーでもある講師から分かり易く解説いただきました。



講師:スナイプバレー合同会社 代表 嶋谷 隆 氏

第2部

海のマイクロプラスチックからアップサイクル・チャーム作り

海から収集したマイクロプラスチックを利用したオリジナルチャーム作りの工作を通して環境問題について考えました。

サステイナブルなひと、
生活クラブ



講師:かわさき生活クラブ生協共同組合

第2回 ごみゼロカフェ 開催概要

- 《開催日時》 2022年12月10日(土)10:00~12:00
- 《開催場所》 中原市民館 実習室
- 《参加者》 20名(大人13名 子ども7名)
- 《内容》 プラスチック問題を“海”をキーワードに、今海の中で起こっている現状の講義と海のマイクロプラスチックを利用したアップサイクル工作の2部構成で実施した。



本講座では、講義と工作の2部構成で、子どもから中高年層の幅広い年代の方にご参加いただき、各講座の意見交換や講師への質問等で、プラスチック問題について理解を深めていただく場となりました。

また、川崎市からも、給水スポットやごみ分別アプリの紹介があり、ごみ削減に向けた情報共有がされました。

第1部

海の中で今起こっていること ～知っておきたい海の環境の話～

スナイプバレー合同会社 代表 しぎや たかし 嶋谷 隆氏より、現在、海の中で起こっているプラスチック問題について講義をしていただきました。

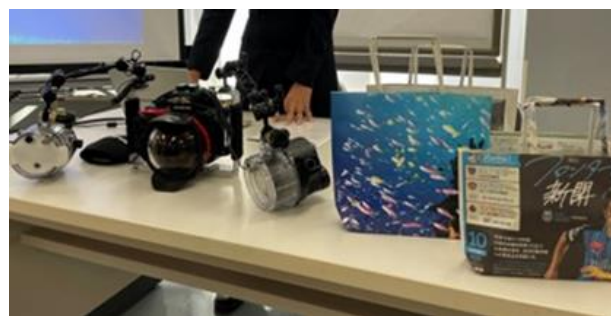
講師自らの実体験は、リアル感もあり、子どもから大人まで、とても分かり易い内容で、海の環境問題を改めて知る内容となりました。

主な講義内容としては・・・

- ・海の問題と汚染の現状
 - ・マイクロプラスチックの発生について
 - ・自分達ができるマイクロプラスチックの削減対策について
- など、海とプラスチック問題を考える興味深い内容でした。



しぎや たかし
スナイプバレー合同会社代表 嶋谷 隆氏



しぎや
嶋谷氏より撮影用の水中カメラと
レジ袋削減にもなる新聞紙BAGを紹介

参加者からの質問一例

Q

化学繊維のセーターを洗濯するとマイクロプラスチックが発生するようだが、洗濯ネットで取れるか？

A

100%は取り切れないが、排水中のマイクロプラスチックの流出を抑える物が売られている。
価格的に高価なものもあるが、種類も増えてきたので、選んで欲しい。



参加者の様子

第2部

海のマイクロプラスチックから アップサイクル・チャーム作り

かわさき生活クラブ生活協同組合の方々を講師に、海のマイクロプラスチックを工作の材料に利用したチャーム作りを行いました。

川崎や神奈川の海で採取したマイクロプラスチックをチャームの型に入れレジンで固めることで、アップサイクルとは思えない美しい仕上がりとなり、参加者一同大満足の作品が完成しました。

また、マイクロプラスチックを発生させる要因や対策、かわさき生活クラブ生活協同組合の取組等についても紙芝居形式で説明がありました。

紙芝居の内容はとても分かり易く、参加の子ども達も楽しく学習することができました。



かわさき生活クラブ生協の紙芝居による説明



子ども達もチャーム作りに夢中な様子



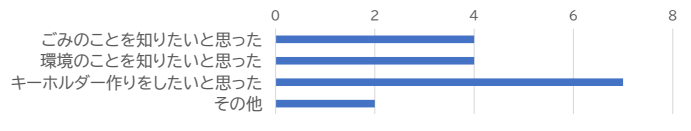
マイクロプラスチックを型に配置している様子



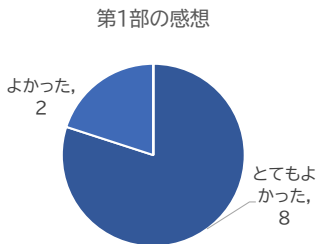
完成したチャームの数々

第2回ごみゼロカフェ 参加者の感想

参加の動機(複数回答)

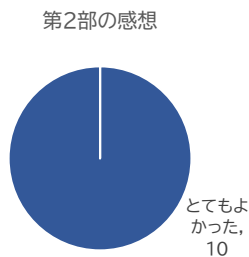


第1部(講義)について



- ・クイズなどがあってわかりやすかった。
- ・海と陸の関連、もっとたくさんの方に知ってほしいと思った。
- ・どれくらいの汚染具合なのかが分かって良かった。
- ・楽しくわかりやすかった。自分に近い未来の危機を感じた。
- ・知らないことがたくさんあり、今後の選択基準がまた深まった。
- ・具体例がありよく分かった。
- ・プラスチックが浮かんでいるのではなく海の底深く沈んでいることに驚いた。
- ・最近マイクロプラスチックについて問題がよく話題にされていると思います。私自身は細かいことまではよくわかっていなかったため知ることができて良かった。

第2部(工作)について



- ・とても楽しかった。
- ・楽しかった！
- ・可愛いチャームが作れた。
- ・簡単にかわいいものが完成した。
- ・マイキーホルダーが楽しくできました。
- ・とてもかわいいキーホルダーができて良かった。

その他意見・要望等

- ・子どもでも楽しめるイベントを用意していただいてわかりやすく楽しいイベントでした。ありがとうございました。
- ・工作や楽しい催しを兼ねると若い方、一般の方の参加につながるということがわかりました。もっともっと一般の方にも知ってほしい内容だった。
- ・どこで何が買えるか、アップサイクル、リサイクルなど環境にやさしい商品を買いたいので情報がほしい。
- ・また参加させていただきたい。
- ・意見交換で話題になった納豆容器の「プラ」としての出し方は、川崎市の分別を守れば正しく処理されると思う。汚れがひどければ可燃ごみでもいいのでは。

今後希望する講座等

〈子ども〉・なんでも知りたい！

〈大人〉・災害ごみの分け方
・工作があると楽しい。手を動かす何かを作って理解することが他にもできたら良い。
・工作や体験型イベント



～ごみゼロカフェサポーターになりませんか？～

“ごみゼロカフェ”は、様々な市民が施設見学や講師からのお話を通して、ごみの減量化・資源化について考えるイベントとして年3回開催します。カフェのようにくつろぎながら意見交換し、ごみの減量化のアイデア出しをしていきます。“ごみゼロカフェ”では、ワークショップの進行や受付等運営のお手伝いをしていただく“ごみゼロカフェサポーター”を募集しています。

▼サポーターの詳細はこちら▼

川崎市ごみゼロカフェ



お問合せ先

川崎市環境局生活環境部減量推進課

TEL:044-200-2580 FAX:044-200-3923 E-Mail:30genryo@city.Kawasaki.jp